

（EV）と電動キックボードなどの次世代モビリティを活用したMaas（乗り物のサービス化）の実証実験を播磨科学公園都市（兵庫県たつの市・上郡町・佐用町）で始める。期間は2022年2月10日ま



公道を走る電動キックボードと超小型EV（試乗会、24日）

の実証実験となる。ウエブアプリケーション（応用ソフト）「西播磨Maas」を使ってサービスの利用ができる。今回は路線バスの経路検索や次世代モビリティシェアリングサービスの予約・決済を可視化。現場へのジャスト・イン・タイム配送につなげている。ヘルメットの着用や搬入前の現場養生、あいさつを徹底するなどといった独自の「マネー配送」という物流品質へのこだわりも特徴だ。中澤社長は「当たり前のことを当たり前にやるのが重要」と意義を強調。物流の内部で、競合他社との差別化を図っている。会社設立以来、常に住宅業界に寄り添い、喜ばれるサービスに手を広げてきた。木材の生産性を上げるために、工務店から求められて始めたものだ。

## 躍動

59 ニューノーマルを生きる成長企業群

ナカザワ建販（大阪府和泉市、中澤秀紀社長）は1983年に設立し、住宅着工戸数が減少傾向にある中でも成長を続けてきた。住宅建材の販売から木材のプレカット加工、住宅設備工事、工務店向けITシステム開発などグループで手がける事業領域は拡大。新事業の創出に伴い、直近もグループ会社を相次いで発足させている。中澤社長は「建築住宅業界の困りごと、社会課題を解決する企業」と自社を定義する。主力とする建材販売

では近畿一円に自社の物流センターを設け、自社物流を実現している。注文商品を各現場に短納期で届ける体制を広域に構築し、商品管理システムの導入によって配送状況や納期を可視化。現場へのジャスト・イン・タイム配送につなげている。ヘルメットの着用や搬入前の現場養生、あいさつを徹底するなどといった独自の「マネー配送」という物流品質へのこだわりも特徴だ。中澤社長は「当たり前のことを当たり前にやるのが重要」と意義を強調。物流の内部で、競合他社との差別化を図っている。会社設立以来、常に住宅業界に寄り添い、喜ばれるサービスに手を広げてきた。木材の生産性を上げるために、工務店から求められて始めたものだ。

## 高品質物流サービス 武器に



ナカザワ建販の建材倉庫

中小工務店の生産性は事業部を分社化し向上の役に立とうと、機能強化、サービス見直しから進捗管理、顧客管理など業務を一元化した。新たな取り組みでは4基幹システム「Any one（エニワン）」面している事業承継問を開設、展開している。これを扱う新会社を設立これまでに全国270社超が導入。17年か

## 中小工務店の事業承継もサポート

【大阪中小企業投資育成 事業ソリユーション部・森田篤参事】1980年創業と後発ながら、高品質な物流サービスを武器に近畿圏トップクラスに成長。プレカット加工や工事の施工も手がけるほか、グループ会社で工務店向け基幹システムの開発に取り組むなど、事業領域を広げながら住生活環境の幸せ創造を追求している。

投資会社の目線  
【大阪中小企業投資育成 事業ソリユーション部・森田篤参事】1980年創業と後発ながら、高品質な物流サービスを武器に近畿圏トップクラスに成長。プレカット加工や工事の施工も手がけるほか、グループ会社で工務店向け基幹システムの開発に取り組むなど、事業領域を広げながら住生活環境の幸せ創造を追求している。

ノウハウを持つコンサ社員との対話を重ね、パートナーによる相談チャットを結成。ファンドを立ち上げ、早期売却希望など個々の事情に応じた選択肢を提示できるようにした。新たな事業やサービスは社内アイデアで実現することも多い。顧客、社員、家族を幸せに成長させるのが大事だ」と考え、経営理念や行動指針を制定。

## 取引先開拓



だ。交流会で顔見知りが増えている」とする。交流会を見守った大商南支部長を務める近鉄百貨店の高松啓一（会長）は「多くの会社はコロナを機に新たな取り組みが必要。交流会で何かきっかけを掴んでもらえれば」とした。

【福岡】福岡県と同県久留米市などは、産学官などを集めたイベント「福岡バイオコミュニティの挑戦」を26日に東京都内で開く。国に認定された「地域バイオコミュニティ」

西日本

集積をイオバトがら進みどの公ベンチ組んでテ